

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (課長補佐兼防災係長 太田 吉哉)	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	--------------------------------	----	----------------

事業種目	地すべり対策事業	事業採択年度	H元		現計画	再評価時点
事業名	地すべり対策事業 〔大谷地区〕	着工年度	H元	総事業費	10.8億円	10.8億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	0.03億円	0.03億円
事業区間	美方郡村岡町中大谷			完成予定年度	H17	H16
所在地	美方郡村岡町中大谷			進捗率 (内用補進捗率)	88%(88%)	69%(69%)
事業の目的				事業内容		
<p>当地区の地すべり被害想定区域には人家及び県道・河川等公共施設があることから、地すべり災害を未然に防止し、県民の生命財産と公共施設の保全を図ることを目的としている。</p>				<p>地すべり防止区域面積 58.40ha 集水井工 12基 集水ボーリング工 7,700m 横ボーリング工 12,925m</p>		
進捗状況		<p>当地区は、比較的小規模な地すべりが地区内に多数分布するという特徴を有している。 対策にあたっては、相互に関連しながら活動を繰り返すという地すべりの特性から、活動特性を見極めながら工事を進めるために長期間を要しているが、これまで地すべり地末端部のブロックから地下水排除対策を進め、現在約88%の進捗である。</p>				
評価視点		評価結果の説明				
(1)必要性		<p>地区全域に地すべりブロックが存在する中、人家及び河川・道路に直接被害を及ぼす恐れの大い地すべりブロックのみ対策を実施する方針であり、その中でも未着手ブロックがまだ残っている為、引き続き事業を実施し、地すべり災害を未然に防止する必要がある。</p>				
(2)有効性・効率性		<p>多数の人家、公共施設等を保全 (直接保全対象) 人家：66戸、県道：1,300m、町道：1,200m 河川：1,300m、耕地：24ha 災害弱者施設(保育所)：1施設、公民館：2棟 事業実施に対し地元協力体制は整っており、円滑な事業執行が可能である。</p>				
(3)環境適合性		<p>対策工の大部分が地下埋設物である為、環境に与える影響は少ない。</p>				
(4)優先性		<p>当地区は、非常に広大な地すべり地であり順次対策工に着手しているが、まだ未着手の地すべりブロックが多く存在し、放置すれば災害発生の恐れは依然として強い為、早急な対策が必要である。</p>				
再々評価の結果	継続	左の理由	<p>上記理由により、事業継続が妥当である。</p>			